

偶数月には1回、「抱樸館を支える会」会員の方にお届けしています

# 抱樸館を支える会

# 会報

2023. 12月  
vol.62

2023年12月1日発行:抱樸館を支える会

## 特集

# 今、困窮者支援は…

2023年秋。コロナ渦による自粛を経て、困窮者支援の現場では様々な行事が行われました。



## ただいま!おかえり! 抱樸館北九州10周年PARTY

卒業生・入所者・スタッフ関係者が一堂に会して10周年を祝いました。



## 美野島めぐみの家

毎週火曜日の炊き出しで手作りの温かい食事が提供されます。



## 抱樸館福岡 きずな祭

4年ぶりの開催!卒業生や地域の人、組合員、取引先のメーカーなど、たくさんの方で賑わいました。

## contents



- 抱樸館北九州10周年……2p
- 抱樸館TOPICS (山ねこキッズカフェ)……6p
- 美野島めぐみの家……3p
- みんなの居場所……7p
- 抱樸館福岡 きずな祭……4.5p
- 抱樸館福岡の入居・退去などの状況…8p



# 設立10周年記念行事での奥田理事長の講話より 抱樸館北九州の歩み、 そしてこれから



奥田さんのnote

おんなじいのちについて  
奥田さん(NPO法人抱樸)は「おんなじいのち」という言葉を掲げて活動を続けます。なぜ「おんなじいのち」なのでしょう。

## なぜ抱樸館をつくったのか

大きなきっかけは2008年のリーマンショック。世界中が一気に金融恐慌の時代に入りました。2008年の大晦日、霞が関の道路をはさんだ日比谷公園に「年越し派遣村」が開設され、派遣切り・雇い止めにあった多くの若者たちが列に並びました。そのころ北九州の炊き出しには、まだ高齢の方々が並んでいました。長く日雇い労働者をして、年金をかける余裕がなかった方々が「人生の最後の最後に野宿になった」という、今までのパターンとは、はっきりと違うと思いました。20代・30代の働き盛りの人たちが炊き出しに並んでいる。「この国はいったいどうなっていくんだろう?」、正直「底が抜けたな」と感じました。「日本は何かおかしくなっている」と肌で感じた2008年の12月。翌2009年から抱樸館を作る計画が進んでいきました。

## 「自立」の先の孤立

困窮者の支援でよく言われるのは「自立の支援」。三十数年前、「まず自立だ、まず仕事だ、まず家だ」ということで活動を始めました。このあと、私たちが大きなショックを受けたのが「自立した人が孤立する」という現状。せっかくアパートに入ったのに、せっかく仕事についたのに、そのあと待っていたのが孤立死…。痛い目に何度もあいました。中には自ら命を絶った人もおられました。自立が孤立に終わる…。「自立ってなんだろう」と考えました。多くの人に頼り頼られ、いろんな人に助け助けられながら生きていくこと、「関係・繋がりを増やす」というのが「自立」の支援なんじゃないかと思い始めました。

自立支援のなかで「社会復帰」という言葉がよく使われますが、そもそもこの社会が構造的に常に貧困層を生み出しているのではないのでしょうか。「親ガチャ」ゲームみたいに。生まれた家や環境ですべてが決まり、ほとんどチャンスがない社会を作ったの

ではないか。「これが復帰したい社会」でしょうか。社会がそもそも生きづらさを生み出しているとするならば、「この社会や地域そのものを作り直す覚悟」を決めないといけないのではないかと考えるようになりました。

## 復帰したい社会を創造する

「抱樸館にいたら元気になる」と言います。「何かしてあげる」とか「問題を解決してあげる」ということじゃなく、人の繋がりがそもそも力を持っているんだと思います。抱樸館は「正しく生きるため」や「問題なく生きていくため」の施設ではない。「問題があっても生きていけるため」の場所なんだと思います。抱樸館の中だけが楽しいのではなく、抱樸館があることによって、社会が楽しく明るくなる—そういうものになって欲しいです。

「自立」とは何だろうか。繋がりが続くこと、繋がりを増やすこと、その中で元気になっていくこと、依存先を増やすことだと思います。社会復帰とは何だろうか。そもそも社会復帰が成立しないなら「社会を創造するしかない」と思います。

多くの方々のかかわりの中で、抱樸館は日々成長していきます。これからもご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

## 「抱樸館を支える会」のみなさまへ



いつもお支えいただきありがとうございます。こういう事業なのでいつも赤字で、どんなに頑張っても儲かることはありません。「行政の支援を受けられない入居者の受け入れ」は非常に大きな問題です。寄付やカンパに頼るしかありません。グリーンコープ(支える会)の長年のお支えには、本当に感謝しております。

奥田 知志(おくだ ともし)さん  
1963年滋賀県生まれ。NPO法人抱樸理事長。  
学生時代からホームレス支援に携わる。  
※希望のまちプロジェクト推進本部代表。

# NPO法人 美野島めぐみの家 おなかも心も温かく



理事長  
梅木 幸子(うめき さちこ)さん

野宿者に衣類配布だけでなく、ちゃんとした食事を提供したいという女性たちが歩みをはじめから、21年になりました。梅木さんは、初期からこのボランティアに参加し、来場者へ心を寄せた活動を続けています。2023年4月、長年支援活動のリーダーだった瀬戸さんから理事長を引き継ぎました。

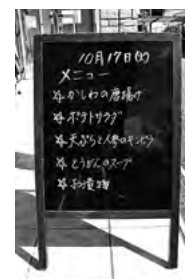
## 梅木さんにお話を聞きました

2003年の冬だったかな。私が所属していたキリスト教会の集会の時に、クリスマスの炊き出しをするけど、ご飯を炊く釜がないので、皆さんのそれぞれの教会でご飯をおにぎりにして持ってきてくれませんかと言われたんです。それがきっかけでこの活動に初めて参加しました。めぐみの家では、週に1度の炊き出し活動を、台風などの特別な事情がない限り20年以上休むことなく続けています。

このボランティアは、みんな困っている人がいたら何かしてあげたいなあという気持ちに満ち溢れているんですね。男性ボランティアの方は野宿のまま、あるいは自立後にもボランティアをしてくださる人もいます。



ボランティアの女性たちがこやかに来場者を迎えます



心を込めて作られた温かいごはんはボリュームたっぷり。お弁当パックとソーセージやバナナのお土産付き。来場者からもこのご飯は「本当にうまい」との声が聞かれました



食後、衣類、日用品、薬などもらって帰ります。防寒着、毛布も出始めました。自由に持ち帰りコーナーもあります。

年に一度活動報告を冊子にまとめています



美野島めぐみの家では、炊き出しの他にも、来場者からの聞き取り、アンケートを実施しています。その統計や報告は年に一度冊子にまとめ、活動の貴重な記録になっています。また、聞き取りの中でそれぞれの事情に合わせて、居住、就労、役所への申請同行など伴走型の支援をしてくれる他団体へ引き継ぎます。

ここにくる人は家族との絆が切れていることが多いです。あなたに何かあったとき誰に連絡してほしいですか?と聞いたときに「誰もいない」という人がとても多いです。家族に知られたくない、人の世話にはなりたくないという理由でかたくなに支援を拒む方も。いろいろです。でもね、ここにきたら誰でも温かく迎えられる。そして愛がこもった手作りのご飯を食べることは、おなかだけじゃなく心も一緒に満たされるんだと思います。

寄付をしてくださる方、食材をくださる方、ボランティアの方、みなさんの善意が集まっている。この世は生きていくのに辛くてきびしいことがいっぱいあるけれど、せめてここにきたらお金の心配をせずに食べられる、必要な助けが受けられるということを知って来てほしいと思います。



## ※「希望のまちプロジェクト」とは?

福岡県北九州市に様々な機能を持った複合型施設を建設し、そこを拠点にコンセプトとしての「まち」を拡げていくものです。

▼希望のまち特設サイト▼



## 美野島めぐみの家

毎週火曜日に、ホームレスや生活困窮者に暖かい食事、日用品、衣類等を提供しています。散髪ボランティアも再開しています。

▼美野島めぐみの家▼





# ～ひろがれ絆！きずな祭！！～

## 第11回 2023 きずな祭

### みんなで創ったきずな祭

祭り開催に先立ち、「きずな祭実行委員会」が6月に立ち上がりました。メンバーは抱樸館職員をはじめ、グリーンコープの組合員、グリーンコープの事業所のみなさん。毎月オンライン会議で話し合いをすすめました。生産者の会に協賛をいただき、組合員の発案で、グリーンコープの取引先メーカー(グリーンクラブ)の出店が決まりました。祭り当日は、グリーンコープの地域組合員も積極的にスタッフとしてかかわりました。

ありがとうございました

### 協賛

- 有限会社 丸忠園芸組合 (焼肉井で使用するピーマン3kg)
- アグリネット (規格外みかん20kg)
- めぐみの会 (規格外柿6ケース)
- 大分製紙 株式会社 (ハロウィン特別仕様のトイレットペーパー12ロール×16個)

### 出店メーカー

- 株式会社 秋川牧園(ヤキトリ販売)
- 株式会社 ネットフーズ(ぎょうざ販売)
- 株式会社 ふくれん(ジュース販売)
- 株式会社 稲石(いくら、漬けサーモンの販売、ちりめん昆布量り売り他)
- 株式会社 ヤヨイ (ポイルズワイガニのみそ汁試食・冷凍販売)

### ゲーム企画

- 輪投げ ○射的 ○イス取りゲーム

### たのつりすっこ保育園

- ボーリング
- 手作りおもちゃ、作品の販売

### 催し物

- ファイバーリサイクルセンター 衣類・雑貨の販売
- ふくしセンター多の津 「多機能 つむぐ」の商品販売、福祉用品展示など

※多機能 つむぐ～障がいのある方の自立訓練(生活訓練)・就労継続支援B型事業所

10月21日秋晴れの土曜日、4年ぶりの「きずな祭」が開催されました。

抱樸館福岡隣の駐車場を開放した会場には、試食・販売、ゲームやイベントのテントが並びました。「ふくしセンター多の津」や、「たのつりすっこ保育園」も建物の一部を開放し、抱樸館福岡の卒業生や入居者、地域にお住まいの方たち、グリーンコープの組合員など、たくさんの来場者で賑わいました。



### 大坪地域理事長のひとこと

グリーンコープ生協ふくおか  
福岡地域理事長 **大坪 亜野子**さん

時間があまりない中、みんなで力を合わせ準備してきました。今日は抱樸館卒業生の方や地域の方もご家族で遊びに来てくださり、とても賑わい本当に楽しい1日になりました。グリーンクラブの方や多の津地域の事業所の方たちと、一緒にきずな祭を創ることができて本当に良かったです。

「きずな祭」をきっかけに、人と人、人と地域のきずなを深めることができたのではないのでしょうか。



たのつりすっこ保育園では、子どもたちがボーリングなどのゲームに参加しました



ふくしセンター多の津館内で、「多機能 つむぐ」利用者さんの作品展示や販売がありました



射的や輪投げも人気でした



入居者の方も洋服を楽しそうに選んでいました



子どもと大人が入り交じってのイス取りゲームは毎回笑いが起こり、盛り上がりました

産直生産者提供 お土産(みかん・柿) 抱樸館福岡 厨房 手作りの焼肉丼



「みんなの居場所在 aru」の美味しいコーヒーとフレンチトースト

### グリーンクラブのひとこと

株式会社 ヤヨイ 代表取締役 **吉田 賀美**さん

グリーンクラブとして初めて出店させていただきました。とても楽しく皆さんの笑顔がたくさんあふれるお祭りだったという感想です。参加している私も楽しかったです！また来年も参加できれば嬉しいと思いました。



盛況だったグリーンコープのメーカーによる試食販売



ヤキトリ串300本は13:00には完売！

たくさんの方に来ていただきました！



### 早野館長のひとこと

抱樸館福岡  
館長 **早野 誠**さん

抱樸館福岡がある多の津地域は、グリーンコープの支部や保育園、福祉センター、ファイバーリサイクルセンターが近くにあり。今回はその皆さんと一緒にきずな祭りができたのがとても良かったと思っています。

きずな祭を抱樸館の中だけでやると、参加者は入居者と卒業生だけになります。そうすると地域の方たちとの関わりが薄くなる。隣にある保育園や福祉センターの事業所が参加することによって、やっと地域の方たちと顔の見える関係ができます。入居者が抱樸館を卒業しても、地域の方たちと関わりが持てるというのはとても大切なこと。今回はグリーンコープ生協ふくおかの地域理事長さんを始め、たくさんの組合員さんがスタッフとして関わってくださいました。僕ら職員も、組合員さんやワーカーの人たちと一緒にお祭りを開催できたことは、今後にとっても良い機会になりました。





### 山ねこキッズカフェ開催！

2023年9月22日金曜日

フリースクール山ねこの子どもたちが、抱樸館福岡でキッズカフェを開催しました♪

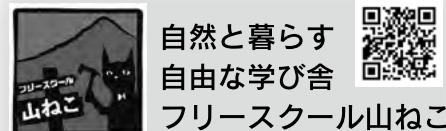
「山ねこ」の子どもたち(小1~中3)12人、スタッフ5人職員、入居者、卒業生、えにしの会メンバーなど66人が参加しました。



抱樸館福岡ではじめての試みとしてキッズカフェを開催しました。子どもたちが書いた段ボール製の看板やメニュー表、折り紙で作ったクッキーを入れる袋と用意したものを設置し準備。子どもたちは「みんなでカフェの準備をがんばった」とやる気満々でスタートしました。

カフェが始まると、職員、利用者、抱樸館の卒業生と参加者が次々と来られ、カフェは満席になりました。「コーヒーはいかがですか?」「ありがとうございます!」と子どもたちの元気な声が響き、カフェは始終賑やかな様子でした。参加者から「子どもたちの声を聞いているだけで心が和む」「普段子どもと接することがあまりないので、とても良い取り組みだと思う」と感想が聞けました。

カフェ終了後、700枚のクッキーはすべて完売。みんなで片づけを済ませた後、気付いたことやカフェの感想を一人ひとり発表しました。「またやりたい」「楽しかった」と子どもたちも大満足なようでした。



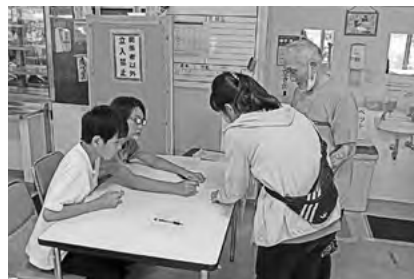
フリースクール山ねこは、森林セラピーで有名な福岡県糟屋郡篠栗町萩尾地区にある山の中の小さな学び舎(学校)です。あそびや暮らしにあるものすべてに「学び」がまつていると考え、既存の学校の学び方にとらわれない、自由な学びを実践しています。



大小2種類のクッキーを準備し、ホットコーヒーやジュースと共に販売。クッキーを買うとくじが引け、キャンディーかクッキーがもらえます



クッキー担当、レジ担当、飲み物担当、受付担当と仕事を割り振って、準備後作業を確認



### 「何か楽しいことが起きるような気がする」と思いました

出張キッズカフェの仕掛け人 抱樸館福岡 副館長 青木 康二さん



「山ねこ」の子どもたちは、何らかの生きづらさを抱え、学校には行けない子どもたちです。一見すると「どうして行けないのだろう?こんなに元気なのに」と思うこともあります。言語化できなくても、小さいながらに生きづらさを抱えています。抱樸館にたどり着いた方々も、苦労を重ねてきた方々です。ここでしばしの休息と「もういちど生きる」ことを頑張っている途上です。子どもたちもフリースクール「山ねこ」で元気と子どもらしさを取り戻し、前に進もうとしています。「そんな子どもたちと、抱樸館の大人が出会ったらどうなるだろう?」という好奇心と言うか、何か楽しいことが起きるような気がしていました。少なくとも、抱樸館の大人たちは、単身生活をしていて、家族とは疎遠になっています。子どもたちと接することで元気になるのではないかと思います。



「抱樸館を支える会」の会費は、子どもたちへの支援にも活かされています。

## みんなの居場所

居場所作り9月 月次報告書より

グリーンコープは子どもたちや地域の皆さんが安心して過ごせる居場所づくりをしています。子どもたちが気軽に立ち寄り遊んだり、宿題をしたり自由に過ごせる場所です。おともと一緒に過ごせます。

福岡

### 片縄けんきもりもりハウス

9月は6年生の利用が多かったのですが、以前のような団体での利用は少なくなりました。最近来なくなったねと言っていた子ども達が1年ぶりに来てくれ、相変わらず元気な様子が確認できて安心しました。



さつまいもが順調に育っています! 収穫が楽しみです!



最近宿題をする子が増えてきました

フードサポートより頂いたそうめんと、組合員さんより寄付していただいた流しそうめん機を使い、みんなでそうめん流しをしました。楽しかったようで想像よりもたくさんの量を食べていました。帰る頃にはみんなおなかいっぱいと言って帰って行きました。

宮崎

### りすのおうちグリーンベース

小学一年生の妹と一緒に来た中学生が、宿題をしたりスマートフォンを見たりしています。中学生でも何か楽しめるものはないか考え中です。小学校低学年の人数が多いと、動きが活発になり賑やかになります。5年生が準備を手伝うことがとてもうれしかったようで、満足げなようでした。



楽しいお昼ごはん!



柱は折り紙で作ったセミがいっぱい



子どもたちはなぜか柱に登るのが好き

福岡

### みんなのいばしょ げんきばりばりよって!



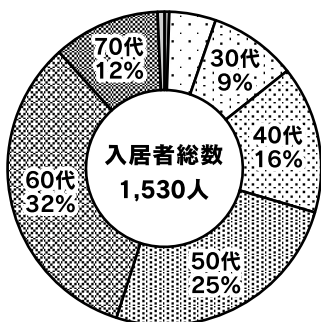
メニュー 豚肉の野菜巻き・かぼちゃサラダ・インゲンのゴマ和え 自分で食べられる量を取ってご飯とみそ汁をもらう



子どもたちの中では、太めの毛糸で縄跳びやトランプ(七並べ)が流行り中

## 抱樸館福岡の入居・退居などの状況

開所から2023年10月末までの入居者数



	人数	割合
10代	11	0.7%
20代	89	5.8%
30代	131	8.6%
40代	237	15.5%
50代	383	25.0%
60代	488	31.9%
70代	177	11.6%
80代	14	0.9%
計	1,530	100%

2023年10月末現在の入居者

**63名(定員81名) 男性62名、女性1名**

2023年9～10月の新入居者数・退居者数

**新入居者数17名 退居者数20名**

(注:10月末までの入居者数1,530名は、2度、3度入居した人も1名と数えています)

抱樸館北九州の入退居の状況は、特集の際にご案内します。

## 抱樸館を支える会の概要

抱樸館を支える会の目的

以下の事業・活動を目的としています。

- ◇ホームレス者支援事業
- ◇抱樸館に関する広報活動及び資金援助活動
- ◇これらに附帯又は関連する事業

設立年月日 抱樸館福岡が2010年5月に開設されるのにあわせて同年4月10日に設立

正会員 以下の18団体が正会員です。  
グリーンコープの各単協(15生協)  
グリーンコープ連合会  
NPO法人 抱樸(旧:北九州ホームレス支援機構)  
社会福祉法人グリーンコープ

賛助会員 2023年10月末の賛助会員は、以下の通り  
グリーンコープの共同購入組合員 11,009名  
グリーンコープの店舗組合員・一般の方 149名  
企業賛助会員 99社

その他(抱樸館の所在地)

抱樸館福岡(福岡市東区) 2010年5月開所  
抱樸館北九州(北九州市八幡東区) 2013年9月開所  
抱樸館下関:新たに開設を準備中  
抱樸館熊本(熊本市中央区) 2018年12月開所

### 抱樸館福岡の見学のご案内

- ・グリーンコープ生協として見学される場合は、所定の用紙でお申込ください。
- ・個人もしくはお知り合いの方と一緒に見学される場合は、直接抱樸館福岡にご連絡下さい。
- ・ホームページからも見学のお申込みができます。

見学申込フォーム



## 抱樸館を支える会 賛助会員と会費について

### 抱樸館を支える会 賛助会員募集中

賛助会員を募集しています。  
賛助会員には、会報をお届けします。

#### グリーンコープの共同購入組合員

賛助会員の申し込みには2つの方法があります。

- ①毎月250円の賛助会費を申し込みいただく(年間で3,000円です)  
毎月の商品代金と一緒に引き落としとなります。  
共同購入申込書の「1300」で申し込みください。
- ②1口1,000円の賛助会費を申し込みいただく  
何口でも申し込み出来ます。  
申し込みいただいた月の商品代金と一緒に一括して引き落としとなります。  
共同購入申込書の「1299」で申し込みください。

賛助会員は一度申し込みいただくと毎年更新されま  
すので新たに申し込みいただく必要はありません。

(グリーンコープの共同購入組合員の場合)

- ①の賛助会員は毎月継続して250円請求させていただきます。
- ②の会員は申し込みいただいた月に毎年一括して請求させていただきます。

#### 一般の方、グリーンコープの店舗組合員

1口1,000円の賛助会費を何口でも申し込み出来ます。  
郵便振替でお願いします。  
郵便振替 01710-0-123003  
一般社団法人 抱樸館を支える会

#### 企業賛助会員 募集中です

企業賛助会員は、会費が1口10,000円です。出来れば3口(30,000円)以上でお願いします。申し込みは、下記へ。

#### 「抱樸館を支える会」事務局

〒812-0011  
福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号  
社会福祉法人グリーンコープ内  
電話 092-482-1964

抱樸館福岡  
ホームページ



#### 抱樸館の連絡先

抱樸館福岡 (電話 092-624-7771 FAX 092-624-7772)  
〒813-0034 福岡市東区多の津5丁目5-8  
抱樸館北九州 (電話 093-883-7708 FAX 093-883-7705)  
〒805-0027 北九州市八幡東区東鉄町7-11  
抱樸館熊本 (電話 096-245-7521 FAX 096-245-7522)  
〒860-0811 熊本市中央区本荘